

特別支援学級 6組 教科(保健体育) 単元名「 バドミントン 」

●単元(題材)の目標

- (1) シャトルやラケットの操作法を身につけ、ラリーを続けることができるようにする。また、空いた場所をめぐり攻防を展開できるようにする。
- (2) 自己の課題に応じた練習を選択することや自己や仲間の課題に気づくことができるようにする。
- (3) バドミントンに積極的に取り組み、相手を思いやることや仲間と協力して取り組んだり、準備・片付けなどを協力して行う。

●指導計画(全10時間扱い)

【第1～4時】

- ラケットの振り方やシャトルの捉え方を身に付ける。
 - ・上手くできていない生徒に対しては動画を撮影して改善点を指摘したり、個別の指導を行う。
- ＜指導の個別化＞

【第5～7時】

- 技能レベル別に課題を提示し、自身で課題を選択し、課題別のグループでグループ別学習を行う。
 - ・教員とラリーを続ける。
 - ・生徒同士でラリーを続ける。
 - ・様々なショットを身に付け、攻防を展開する等。
- ＜学習の個性化・協働的な学び＞

【第8～10時】

- 習得した技能、克服した課題の成果の発揮の場として、リーグ戦を行う。
- ＜協働的な学び＞

●単元(題材)における個別最適な学びと協働的な学びの具体化

個別最適な学び

＜指導の個別化＞

技能レベル別に課題を提示する。
生徒の技能によって指導のアプローチを変える。

＜学習の個性化＞

自ら課題を整理・選択させ、個々の課題に応じた学習の方向性を導き出させる。
ショットを打つ際のフォームなどを動画で撮影し、改善点を考える。

協働的な学び

＜協働的な学び＞

同じ課題を持つ生徒同士で、互いの課題を解決するために気づいたことは仲間に伝え、協力して課題解決を図る。
ペアで動画撮影などを通して協力して、フォーム改善に努める。準備片付けは自ら役割を見つけ、効率的に片付けができるように協力する。

●個別最適な学びと協働的な学びの学習活動に応じたICTの活用

- ・Chromebookのカメラ機能
- ・グーグルフォームでの課題選択

ICT端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」指導略案

保健体育科

指導者 T1杉山 潮

T2大西 俊輔

T3久保 綾子

介助員 福島 美穂

クラス:特別支援学級(6組)

1. 題材名 「 バドミントン 」

2. 授業のねらい

自分の技能に応じて課題を選択し、仲間と協力して技能の向上を図る。

3. 指導過程

学習活動	指導上の工夫・留意点	学習活動の観点 (個別化・個性化・協働)
1. 号令・健康観察 2. 本時の目標の確認 3. 補強運動・ランニング	○補強運動が正しい形で行えているか観察する。	
4. ネットの準備 5. シャトル打ち ・教員が打ったシャトルを打ち返す ・横に振ったシャトルを打ち返す ・教員とラリーを行う 6. 課題を選択して仲間と練習に取り組む ・教員とラリーを続ける ・生徒同士でラリーを続ける ・様々なショットを身に付け、攻防を展開する	○自分で役割を見つけ、協力して効率よく準備をするように心がけさせる。 ○グーグルフォームで自分の技能に応じて課題を選択させ、同じ課題を選択した仲間と協力して技術の向上を図る。	個性化
7. 片付け 8. 健康観察・本時のまとめ 9. 号令・解散	○自分で役割を見つけ、協力して効率よく準備をするように心がけさせる。	

4. 参考資料(使うアプリケーションや画面)等

・グーグルフォーム(課題選択の画面)

保健体育科「バドミントン」課題選択

ICT端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の授業実践

09664564@koganet.ed.jp アカウントを切り替える

共有なし

授業日

日付

年 / 月 / 日

年 組 番

回答を入力

名前

回答を入力

学習の方向性を決めましょう。

- ☐ ラケットの中心にシャトルを当てることができる。(手投げノック)
- ☐ ラケットでシャトルを打ち返すことができる。(手投げノック)
- ☐ 狙った場所にシャトルを打ち返すことができる。(手投げノック)
- ☐ 相手(先生)にシャトルを打ち返すことができる。(先生とラリー)
- ☐ 相手(先生)とラリーを10回続けることができる。(先生とラリー)
- ☐ 相手(先生)とラリーを20回続けることができる。(先生とラリー)
- ☐ 友達とラリーを続けることができる。(友達とラリー)
- ☐ 友達とラリーを15回続けることができる。(友達とラリー)
- ☐ 友達とラリーを30回続けることができる。(友達とラリー)

「バドミントン」の課題を選び、学習の方向性を決めましょう。
レベル(課題)4の「個人技」は、レベル1から3までを達成済みの場合のみ、選んでください。

挑戦するレベル(課題)を決めましょう!



○ レベル(課題)1「手投げノック」
(担当:大西先生)



○ レベル(課題)2「先生とラリー」
(担当:福島先生)



○ レベル(課題)3「友達とラリー」
(担当:久保先生)



○ レベル(課題)4「個人技」(担当:杉山先生)